

〈沖縄県立開邦高等学校〉

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単位数	学科・学年・学級
美 術	立体造形(総合選択)	2単位	芸術科 第3学年6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	様々な材料による彫刻など立体造形の表現を通して、表現技法と鑑賞の能力を高める。		
教科書・副教材等		授業形態	一斉授業・個人制作

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点	考查
1 学 期	4	立体造形概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな立体作品をみて、その種類や素材、技法について学ぶ。</li> <li>・平面と立体の違いについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな彫刻の種類や素材、技法について理解できたか。</li> <li>・立体の特性を理解できたか。</li> </ul>	
	5 6 7	ダンボールによる制作 「素材」自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボールの素材の特徴を生かし、平面体の集合で立体を構築する能力を養う。動き・表情・特徴を捉えて制作する。構造や細部表現もよく観察して制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボールの特徴を生かし、生き生きとした動きや特徴を捉えているか。構造を理解し、よく観察して制作できたか。</li> <li>・講習会等で他の作品を鑑賞し、自らの作品に対する内容、表現、技法、反省課題等を的確に発表することができたか。</li> </ul>	
2 学 期	9 10 11 12	油粘土による制作 「友人」頭像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土素材の特徴を生かし、動き・表情・特徴を捉えて制作する。構造や細部表現もよく観察して制作する。</li> <li>・モデルをよく観察し、塊や量感など特徴を捉えて制作する。</li> <li>・頭部クロッキー、心棒組み、モデリング等、制作の流れを学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルをよく観察し、細部のみにとらわれず、塊や量感の特徴を捉えた表現になっているか。制作の過程や技法を理解することができたか。</li> <li>・講習会等で他の作品を鑑賞し、自らの作品に対する内容、表現、技法、反省課題等を的確に発表することができたか。</li> </ul>	
3 学 期	1 2 3	発泡素材による制作 「自分」フィギュア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめ、人体の特徴や性格の表現に努める。</li> <li>・カービングとモデリング技法を使い、特有の魅力を感じ取りながら制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の使い方を工夫して制作することができたか。</li> <li>・素材の材質感や特性を生かして表現することができたか。</li> <li>・講習会等で他の作品を鑑賞し、自らの作品に対する内容、表現、技法、反省課題等を的確に発表することができたか。</li> </ul>	
年間の 評価		作品の提出状況、観点別評価(関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力)などを総合的に判断し評価する。			

3 その他